

自立と共生！

たくましい日本！

No. 192号

民主党 中川正春の **永田町かわら版**

2003年5月27日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128

FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>E-mail g03063@shugiin.go.jp**○ヨーロッパの大統合。****25カ国の成熟した政治に拍手**

「私達は、決して無理強いをしない。今回のアメリカによるイラクへの軍事行動に対しても、イギリスはアメリカと行動を共にしたが、フランスとドイツは強く反対した。通貨についても、全ての加盟国がユーロに合流した訳ではない。見方によっては、政治統合の根幹にかかわる安全保障の枠組みと通貨がバラバラでは、ヨーロッパ統合の将来が危ぶまれると言う人もいるかもしれない。しかし、それは、間違いだ。私達EC加盟メンバーからは、一言たりともそのような声は聞こえてきた事はない。

できるところから、まずコア（核になる合意）をつくる。それから、外れる国があっても、その背景を理解して、当分は違いを認める。さらに、辛抱強い話し合いとお互いの妥協が、いつかは、全体のコンセンサスを作る。このことを信じて、ECのメンバーであり続けることを何よりも優先させる事が、大ヨーロッパ統合という私達の壮大な歴史の創造事業の成功への唯一の道だと思っています。」

私達日本の国会議員との意見交換の場で、ドイツ出身の議員から、感慨を込めてでてきた言葉です。ヨーロッパは、すっかり成熟しています。お互いの違いを尊重しながら、最終的には、一緒になっていこう。ムリに急ぐ事はない。じっくりと、じっくりと。

ひるがえって、日本はどうか。民主党の中のコンセンサス作り。自由党との合流問題。ヨーロッパの話を聴きながら、つい、この国の二大政党つくりを思い返してしまいました。自分の思うようにいかないと、すぐに党を出るとか、話をご破算にするとか、短絡的な話のなんと多い事か。ヨーロッパなどと比べると、日本の政治の成熟度は、まだまだ大人の域に達していない。このことだと、思いました。

電話が入り、「いま、ハンミちゃんとその両親を伴って日本に来ているので、中川さんにも改めて会いたい。」と、言ってきました。早速、議員の仲間に呼びかけて、皆の前で改めて話をしてもらいました。

「命をかけた逃亡の後、韓国で新しい生活が始められた事に感謝している。しかし、本当の幸せは、まだ来ない。北朝鮮では、今、この瞬間にも、沢山の人が飢えと苦しみの中で次々と命を落としている。金正日の非道な体制が続く限り、事態は、さらに悪化する。これまでに、500万人以上の餓死者があった。食料支援も本当の役には立っていない。全てラベルを張り替えて、これは将軍様からの贈り物だと態勢に従順な人だけに渡る。国際社会が、北朝鮮の国内で苦しむ2000万の国民、そして、そこから逃げて中国に潜伏している20万人の人々の悲惨な現状に、ぜひ目を向けて理解をしていただき、救済の手を差し伸べて欲しい。金正日に妥協することなく、戦って欲しい。このことをうったえに、私達は日本にきました。」父親のキム・グアンチョルさんが、言葉をかみしめながらうったえました。ハンミちゃんが、時々すねたりしながらお母さんに甘える様子に、改めて、こころの中が熱くなりました。北朝鮮は飛行機で2時間。すぐ隣の国です。

○銀行国有化、都立銀行創設は本物か。

昔の大和銀行。これが、あさひ銀行等と一緒にあって、再生したつもりの「りそな銀行」が再び危なくなつて2.5兆円規模の税金が注入され実質国有化されます。一方、東京都知事が、都の税金から5千億円出して中小企業向けの都立銀行を作ると発表しました。どちらも税金を入れて、国や東京都の後ろ盾があるから大丈夫だということです。

構造改革、規制緩和で民間活力の再生を進めてきた結果が、国や地方自治体が直接経営する

○瀋陽事件のハンミちゃん一家

国会訪問の一日

瀋陽の日本総領事館に、北朝鮮を脱出して中国に潜伏していたハンミちゃん一家が逃げ込んで、中国の公安当局に連行されてしまった映像が世界中に流れてから一年がたちます。当時、この家族を領事館まで導いた韓国NGOの文国韓氏から突然の

銀行に行きついたら、皮肉な事です。未だに銀行業界は、お上の意向しだいで、主体性に欠けると言う批判は、あたっています。

私達がもう一方で期待したいのは、この分野でも、カルロス・ゴーンのような経営者がでてきて、日本の金融を担う主体になることです。